

企画財政課からの お知らせです！

なお、「川俣町のわかりやすい予算」も
あわせてご覧ください。



町の当

初予算88億4、
200万円が3月定

例議会で可決されたことにより、平成29年度のスタートを切る財源を確保し、現在、町民のみなさんが快適な暮らしができるよう様々な事業を展開しているところです。しかしながら、町の未来を描く予算（政策的な事業に対する予算）については、佐藤町長が就任した時期と当初予算を議会で審議してもらった時期とが重なったため、佐藤町長が十分に判断する時間をとることが出来ませんでした。そのため、補正予算第1号で予算確保をすることとなりました。

町の補正予算第1号の総額は

第1号 平成29年5月2日補正予算成立

補正予算 32億 98,235千円

32億98,235千
円で、主な事業として

は、町民の安全・安心の構築に向けた「デジタル防災行政無線整備事業」、山木屋地区の農村環境の維持等を目的とする「粗飼料生産流通拠点施設整備事業」、ポリエステル媒地という新しい技術により植物栽培（アンスリウム）を実施する「施設園芸導入推進事業」、出産祝金を5万円から10万円に拡充した「出産祝金給付金」、既存の「子どもとみんなの広場」を、町保健センターと連携し新たな形で実施する「子育てほっとステーション事業」など、今後、みなさんが夢や希望を持ち安心して暮らしていきたいよう、事業を進めて参ります。



デジタル防災行政無線 整備事業

担当：総務課消防交通係

屋外スピーカー設置で安全な町づくり！
情報共有で、すみよい環境づくりを進めます。

3億
41,140千円

町では平成29年度～平成31年度の3か年にわたり、総額8億79,236千円でデジタル防災行政無線整備事業を実施します。現在の防災行政無線システムは、アナログ無線回線となり地元消防団との連絡しか出来ない状態です。本事業の実施によりデジタル無線回線で消防団との交信はもとより、屋外スピーカーを設置することで、町からの情報を町民全員に一斉に提供することを可能にします。





粗飼料生産流通拠点施設整備事業

担当：産業課農業振興係

7億
34,007千円

山木屋地区の広域的な農地保全を実施。地域の畜産振興と農業者の帰還促進を目指す。

これまでにも除染後農地の再開支援や保全管理に取り組んできた「山木屋再生受託組合」が、さらに広域的に山木屋地区の農村環境の維持、地域の畜産振興、農業者の帰還促進などを目的に事業を実施します。事業費総額は平成29年度～平成31年度の3か年で26億19,854千円となり、トラクター、飼料倉庫、機械格納庫などの整備を行っていきます。

道路整備

○町道西方飯野線 20,160千円

○町道芦沼田線 22,770千円

○町道西町線 20,758千円

○町道平場線 21,971千円

○町道新中町・中道線 6,480千円

○町道中島・諏訪線 18,456千円

○広町・宮ノ後線 12,701千円

○町道日和田・中丁線 12,000千円



施設園芸導入推進事業費

担当：産業課農業振興係

川俣町ブランドの確立に向けてアンズリウムの栽培、出荷を強化。

10億
42,588千円

近畿大学の技術協力により実証栽培による成果を受け、ポリエステル媒地を活用しながら「ポリエステル媒地活用推進組合」によるアンズリウムの栽培及び出荷を行います。全町を対象地区として生産者を募り川俣町ブランドの確立に向け、年間出荷本数50～60万本を目指していきます。なお、ポリエステル媒地による栽培は作業負担が大きく軽減されることから、今後、広く注目される栽培方法です。



子育てほっとステーション事業費

担当：子育て支援課子育て支援係

こどもとみんなの広場がパワーアップ！

624千円

鶴沢公民館で行っている「こどもとみんなの広場」を保健センターに場所を移し、専門スタッフの拡充を図ります。今まで以上に育児の悩み相談や専門スタッフによる指導など、子育ての強い味方としてパワーアップします。



お待たせしました！
平成30年度開始！

コンビニ収納システム改修委託料

6,988千円

平成30年度より町県民税、固定資産税、軽自動車税、国保税、介護保険料、後期保険料、住宅使用料、幼保保育料のコンビニ収納を開始。
(担当：町民税務課収納室)



出産祝金

担当：子育て支援課子育て支援係

子育てを応援。祝金を増額！

平成29年度から出産祝金を5万円から10万円に引き上げて給付し、子育て世代を応援します！

2,000千円
合計予算
6,000千円

